

宮崎県椎葉村尾前方言における形容詞の サ形を修飾部にとる名詞句構造の記述

言語学・応用言語学専門分野

1LT15012W

2015年(平成27年)入学

井上郁菜

2019年(平成31年)1月提出

要旨

本論文は、宮崎県椎葉村尾前方言における「指示詞+形容詞幹+さ+の+名詞」(以下「指示詞+形容詞サ形」)という形をとる(1)のような名詞句を記述し、指示詞+形容詞サ形で用いることができる形容詞の分類を試みる。

(1)	{kore/kono}	taka-	-sa	=no	tyawan
	{これ/この}	高い	-NMLZ	=GEN	茶碗
	特別 (高さが)	高い茶碗			

本論文では指示詞+形容詞サ形について以下のことを記述する。

- (2) 指示詞の種類としては近称、遠称が使われる。
- (3) 指示連体詞だけでなく指示代名詞も使われる。
- (4) 指示詞+形容詞サ形の名詞句は助詞をとり項になることができる。
- (5) 指示詞+形容詞サ形の名詞句は名詞句述語になることができる。

また、指示詞+形容詞サ形で使われる形容詞については以下のような階層性が見られる。指示詞+形容詞サ形で用いられる形容詞は、叙述形容詞>感覚形容詞>心情形容詞の左のカテゴリほど用いられやすく、右のカテゴリの形容詞を用いることができるならばそれより左の形容詞を用いることができるという階層性がある。

目次

1.はじめに	1
2.椎葉村方言の概要	2
2.1. 地理・系統	2
2.2.椎葉の音素論と音韻規則	2
2.3.椎葉の指示詞体系	3
3.先行研究	4
3.1.形容詞+サ形に関する先行研究	4
3.1.1.山本(2017).....	4
3.1.2.高田(2015).....	6
3.2. 本論文の理論的前提出なる先行研究	7
3.2.1.Dixon (2004), Backhouse (2004)による形容詞の分類	7
3.2.2. 西尾 (1972).....	9
4.調査	11
4.1.調査概要	11
4.2.調査結果	12
4.2.1. 指示詞の種類	12
4.2.2.指示詞の品詞	13
4.2.3. 格と文法関係	14
4.2.4. 終助詞	18
4.2.5. 否定形	18
5.今後の課題	21
5.1 .3 章のまとめと課題	21
5.2.指示詞+形容詞サ形で使用できる形容詞の分類基準	21
5.2.1.分類の概要	21
5.2.2.分類の結果	22
5.2.3.分類基準のまとめ	26
6.おわりに	27
参考文献	28
グロス一覧	29
付録 1.調査結果	30

1.はじめに

本論文の目的は、宮崎県椎葉村尾前方言における「指示詞¹+形容詞語幹+さ+の+名詞」(以下「指示詞+形容詞サ形」)という形をとる名詞句の使われ方を記述することである。対象とする現象は、椎葉村尾前地区での調査で見つかった(1)のような表現である。

(1)	a.	kore	hutosano		tyawan
		kore	huto	-sa	=no
		これ	大きい	-NMLZ	=GEN
「特別大きな茶碗！」					茶碗
b.		kon	mizikasano		himo
		kono	mizika	-sa	=no
		この	短い	-NMLZ	=GEN
「特別短い紐！」					紐
c.	*	kore	nukusano		yoru
	*	kore	nuku	-sa	=no
		これ	暑い	-NMLZ	=GEN
「特別暑い夜！」					夜

(1)は「指示詞+形容詞語幹+さ+の+名詞」という形で、「特別～(形容詞)な N(名詞)」、「こんなに～(形容詞)な N(名詞)」という驚き・詠嘆の意味を表す。すべての形容詞を用いることはできず、例えば(1c)の様な文は許容されない。

2章では、先行研究である山本(2017)から椎葉村小崎地区という別の地区でも同様の表現が見られることを確認する。3章では、先行研究である山本(2017)から椎葉村小崎地区という別の地区でも同様の表現が見られることを確認する。また、形容詞の分類について Dixon(2004)の分類と西尾(1974)の分類を参考にする。3章では、この形容詞サ形がどのような用いられ方をしているか記述する。どのような形容詞が用いられるか、形容詞の意味的な分類を基準とすることを試みたものを、5章にて今後の課題として述べる。

¹ 指示詞は特定の品詞を指すのではなく代名詞や連体詞など複数の品詞にまたがる機能類を指す。

2. 椎葉村方言の概要

2.1. 地理・系統

椎葉村は4つの大字(下福良、不土野、大河内、松尾)から構成され、それぞれの大字はさらにいくつかの区に分けられる。尾前地区は、行政区画でいうと椎葉村大字不土野の尾向区・不土野区の1地区にある。(下地ほか 2016: 6)

吉岡ほか(1994)によると「九州方言が、東側の豊日方言、西側の肥筑方言、南の薩隅方言と区画されるなかで、椎葉村は豊日方言圏の南西部に位置する。宮崎県の方言は、豊日地方に属する日向方言と、薩隅方言に属する諸県方言に分けられる」(吉岡ほか 1994: 236)という。さらに日向方言の下位区分について「日向方言は、大きく三つに、東臼杵・西臼杵の北部方言、児湯・宮崎の中部方言、北那珂・南那珂の南部方言と区画される。椎葉村は北部方言圏に位置する。」(吉岡ほか 1994: 237)と述べている。すなわち、椎葉方言は日向方言の中でも北部方言圏に属するとされる。

2.2. 椎葉の音素論と音韻規則

以下では尾前方言の音素、音節構造、音韻規則を下地(2016a)から引用する。

まず、下地(2016a)は尾前方言の音素について、子音音素14個(p/b, t/d, k/g, s/z, h, m, n, r, w, y), 母音音素5個(i, u, e, o, a)であるとしている。本論文ではこの下地ほか(2016a)の音素表を用いる。

尾前方言の音節構造を一般化したものを(2)で示している。前初頭子音(pre-initial; オンセットに先立つ特殊な子音)を#P、子音をC、母音をV、接近音をGで表す。

(2) (#P)(C1(G))V1(V2)(C2)

(a) CV の例: ha.ku [haku] 「吐く」 (CV.CV)

wa.ku.doo [wakudo:] 「カエル」 (CV.CV.CVV)

(b) CGV の例: wyaa.te [wja:te] 「湧いて」 (CGV.CV)

ma.wyaa.te [mawja:te] 「回して」 (CV.CGVV.CV)

tyaa.tu.ke.ru [tea:tsukeru] 「(火を) つける」 (CGVV.CV.CV.CV)

hwii.te [phi:te] 「吹いて」 (CGVV.CV)

(c) P.CGV の例: h.wyaa [phi:] 「ハエ」「灰」 (P.CGVV)

[下地 2016a : 10 (1)]

/CG/の組み合わせのうち特徴的なものとして、/Cy/の/C/には/w/を含むすべての子音音素が立つ。なお、/wy/は形態音韻規則で派生して生じるもので基底には見られない。/Cw/の/C/の位置には/k/, /g/のみが立ち、いわゆる合拗音が存在する。漢語由来の場合は/kwa/, /gwa/のみが見られ固有語には/kwa/, /kwo/が見られる。

前初頭子音(#P)を立てるのは、[h]と対立する[Φ]を/hwy/という連続として解釈するためである。こう解釈することにより、形態音韻規則を体系的に記述できるという。

形容詞の活用においては母音融合が見られる。下地(2016a)はテ形の形成規則で以下のようなものを挙げているが、これは形容詞の活用にもあてはまる。

(3) 母音融合規則

- (a) //ou// → uu
- (b) //au// → oo
- (c) //ei// → ee
- (d) //ui// → ii
- (e) //iu// → uu
- (f) //oi// → ee
- (g) //ai// → aa

[下地2016a : 12 (9)]

2.3.椎葉の指示詞体系

清岡(2016)から、表 1 に椎葉村尾前方言の指示詞体系表を引用する。

表 1 椎葉村尾前方言の指示詞体系

品詞 範疇 称	代名詞			連体詞	様態 副詞	様態 連体詞
	事物・人物	場所	方向			
近称	ko-re	ko-ko	ko-tti	ko-no	ko-o, ko-gee	kogyan
中称	so-re	so-ko	so-tti	so-no	so-o, so-gee	sogyan
遠称	a-re	ak-ko	a-tti	a-no	a-a, a-gee	agyan
不定称	do-re	do-ko	do-tti	do-no	do-o, do-gee	dogyan

[清岡 2016 : 9]

清岡(2016)は、指示詞はすべて指示詞語根+接尾辞に分析でき、ko-, so-, a-, do- の 4 系列があると報告している。

近称、中称、遠称の使い分けや、近称、遠称に対し中称の指す範囲が曖昧であるなど

の記述はない。また、清岡(2016)では「指示詞+形容詞サ形+の+名詞」の表現は報告されていなかった。

3.先行研究

3.1 節ではまず、「指示詞+形容詞+サ」の表現の現象についての先行研究として山本(2017)を参照する。次に、指示詞+形容詞サ形と形式的に類似しているサ詠嘆研究について高田(2015)を参照し調査項目の参考とした。さらに、3.2 節では本論文の理論的前提として調査に用いる形容詞の選出として、Dixon(2004)を引用する。

3.1.形容詞+サ形に関する先行研究

3.1.1.山本(2017)

山本(2017)は、宮崎県椎葉村小崎地区こさきでの方言調査に関する諸問題を報告したものである。その中の一つに、小崎地区臼杵又での「形容詞+サ」の指示用法と詠嘆用法を挙げている。

(4), (5)は、指示詞+形容詞+サの形が指示用法で用いられる例である。山本(2017)で直接の指摘はないが、近称の指示詞が名詞に前接する場合、指示連体詞だけでなく指示代名詞がくることができる場合があると(4), (5)からわかる²。

- (4) コレ フトサノモノー コーテキテクレー。
(この太さの物を買ってきてくれ。)

[山本 2017 : 4 (32)]

- (5) コノ オブンノモノー コーテキテクレー。
(この重さの物を買ってきてくれ。) (オブリ 重さ)

[山本 2017 : 4 (33)]

次に、形容詞+サの詠嘆的な用法として、「(指示詞) 名詞ノ 形容詞サ」、「(指示詞) 形容詞サノ 名詞」という二つの表現について記述している。

「(指示詞) 名詞ノ 形容詞サ」の例を(6)に挙げる。これは、九州方言で一般的にみられるいわゆるサ詠嘆用法に該当する。

- (6) コノ タ{ノ/*ガ} ヒロサ。 ニタンブドマ アルバイ。
(この田の広いこと！二反歩位あるよ。)

[山本 2017 : 5 (41)]

² 以下引用した例文に関しては筆者の表記に改めた部分がある。

(6)の文末「ヒロサ」の「サ」は長音化してもよい。また、「*ヒロサヨ」「*ヒロサヤ」のような終助詞は付かない。(7)のようにサ詠嘆の文が許容されない場合もあるが山本(2017)ではその条件は明示されていない。

(7) コノ フクノ *アカサ。(この服の赤いこと！)

[山本 2017: 5 (44)]

続いて、「(指示詞) 形容詞サノ 名詞」の例を(8)に挙げる。

- (8) a. コレ ヒロサノ タンボ。(広い田んぼ！)
b. コノ ヒロサノ タンボ。(広い田んぼ！)
c. ヒロサノ タンボ。(広い田んぼ！)

[山本 2017: 5 (42)]

まず、(8)のように、「指示詞 形容詞サノ 名詞」では指示詞のスロットに指示連体詞だけでなく指示代名詞も来ることができる。一方で、(9)のように、指示連体詞は許されるが指示代名詞が許されない場合もある。

(9) {アノ/*アレ} アカサノ ツラ。メンノゴタル。
(なんて赤い顔！<神楽の>面のようだ。)

[山本 2017: 5 (43)]

指示詞の種類は、近称(8)、遠称(9)が報告されているが中称については触れられていない。また、近称・中称・遠称という指示詞の種類、指示連体詞・指示代名詞という2つの変数を組み合わせた6通りすべてを調査したわけではない。

さらに、(5)は「コノ/コレ」を言わない「ヒロサノ タンボ」という形も許容され、指示詞を言わないこともできる。一方で、(9)に対し(10), (11)のように指示詞を言わない形が許容されないこともある。なお、山本(2017)では(10), (11)の文が発話された状況が、近称、遠称等どの指示詞が想定されるものであるかわかるような文脈は明示されていない。

(10) *アカサノ ツラ。(なんと赤い顔！)

[山本 2017: 5 (45)]

(11) *タカサノ ヤマ。(なんと高い山！)

[山本 2017: 6 (58)]

以上のように、椎葉村小崎地区では九州地方の方言で見られるいわゆるサ詠嘆法だけでなく、「(指示詞) 形容詞サノ 名詞」という形での詠嘆の表現が見られる。さらに、「(指示詞) 形容詞サノ 名詞」の表現では、指示詞に指示連体詞「コノ」だけでなく指示代名詞「コレ」を用いる場合がある。しかし、指示詞の近称中称遠称という変数、指示連体詞、指示代名詞という変数の、2つを組み合わせた6通りすべてを調査しているわけではない。また、現象の記述にとどまっておりメカニズムに対する言及はない。

3.1.2.高田(2015)

高田(2015)は、佐賀県鹿島方言のサ詠嘆法の実態を記述したものである。具体的には、サ詠嘆法を、特に詠嘆の場合のカ語尾形容詞と対照しながら、形態的項目、統語的項目、意味的項目について調査している。

高田(2015)は「形容詞語幹（語根+カ/サ）で発話を終える（後に終助詞などがつかない）」かつ「語尾がのびる」ものを詠嘆と定義する。さらに、「アオサー」のようなものをサ詠嘆法、「アオカー」のようなものをカ詠嘆法と表記する。

形態的項目、統語的項目の調査項目と結果について表2に引用する。

表2 高田(2015)の形態的、統語的項目調査結果

		サ詠嘆法	カ詠嘆法
形態的	派生形容詞	○	○
	否定	○	○
	過去	×	○
	未来	×	○
統語的	ガ格	×	○
	主題助詞「は」	○	○
	無助詞	○	○
	副詞修飾	○	○
	連体詞修飾	×	×
	他動形容詞	○	○

[高田 2015 : 9]

形態的項目、統語的項目に関する高田(2015)の結論は次のとおりである。

まず、形態的特徴の項目で、過去、未来をサ詠嘆法で表すことができないことか

ら、サ詠嘆法は現場性の強い表現であるとする。

次に、統語的特徴の項目で、副詞修飾できることからサ詠嘆法は体言的でないこと、連体詞修飾できないことから形容詞の名詞的性質をもっていないことがわかると高田(2015)は結論付ける。

一方、統語的特徴の主題助詞「は」、無助詞の項目で「この」「その」といった先行句を付せば、サ詠嘆法にできるという結果は先行研究に反するものだった。「この」「その」を付ければ言いやすくなる原因までは調査するに至ってないとしている。

意味的特徴の調査では、カ詠嘆法、サ詠嘆法に形容動詞を用いるかの調査と、Dixon (2004) の分類をもとにした語彙種別の調査を行っている。³

形容動詞については、カ詠嘆法、サ詠嘆法ともに用いることができ、語彙種別の調査については、すべての分類に渡って使用することができていた。形容動詞、語彙種別の調査とともに、普段日常会話で使用する語であるかどうかが使いやすさに関係しているという結論であった。

3.2. 本論文の理論的前提出なる先行研究

3.2.1. Dixon (2004), Backhouse (2004)による形容詞の分類

Dixon (2004) は通言語的に形容詞という品詞が選択されやすい語を意味的に分類し、かつ階層化したものである。意味的なまとまりでの 13 の分類があり、この分類に日本語の形容詞をあてはめたものについては同書で Backhouse (2004) が言及している。 Backhouse (2004) で示された表を以下に引用する。(訳は筆者)

表 3 Dixon (2004) の分類と代表的な形容詞

意味タイプ	例	コメント
DIMENSION	大きい、小さい、広い、狭い、太い、細い	基本的なものは全部屈折する。「大きい/小さい」は、「大きな/小さな」 ももつ。
AGE	古い、新しい、若い	基本的なものは屈折する。Old は語彙的に名詞 + 動詞のフレーズ。
VALUE	良い、悪い、大丈夫な、だめな、すばらしい、結構な、すごい、へんな、	基本的なものは屈折するが、多く屈折しない(ナ形、たまにナノ形)。「おかしい」は「おか

³ 高田 (2015) は DIMENSION から SPEED までの 7 分類を調査に用いている。

	おかしい	「しな」を持つ。
COLOUR	白い、黒い、赤い、青い、緑の	基本的な色の語は屈折する。名詞もある(白、黒、赤、青)。中には屈折しないもの(ノ)もある。
PHYSICAL PROPERTY:	熱い、冷たい、重い、軽い、きれい(な)、汚い、いっぱいの、空な(/の)	基本的なものは全部屈折するが中には屈折しないもの(ナ、ナ/ノ、ノ)もある。動詞もある(湿った、乾いた、はげた、くたびれた、死んだ、など)
HUMAN PROPENSITY:	上手い、上手(な)、下手(な)、優しい、厳しい、寒い、暑い、怖い、欲しい、残念(な/の)、嫌(な)	屈折するものもしないもの(ナ、ナ/ノ)もある。語彙的に名詞+形容詞もある(「おなかがすいた」「のどが渴いた」は名詞+動詞)。
SPEED	速い、遅い	基本的なペアは屈折する。
DIFFICULTY	易しい、簡単な、難しい、困難な/の“”	基本的なペアは屈折する。屈折しないもの(ナ、ナ/ノ)は類義語。
SIMILARITY	同じ、別(な/の)、他(の)	ハイブリッドで屈折しない(ナ/ノ、ノ)。「同じ」は動詞。
QUALIFICATION	正しい、特別な、一般的	屈折するものとしないもの(na/no, no)がある。動詞、副詞が見られる。
QUANTIFICATION	多い、少ない	基本的なペアは屈折する。形容詞は少なく、名詞、動詞が見られる。
POSITION	高い、低い、遠い、近い	基本的なペアは屈折する。「右」、「左」は名詞。
NUMBER ⁴	—	数詞類別詞から成る名詞(一本、など)

⁴ Backhouse (2004) の表は“NUMBER”だが、Dixon (2004) の分類では”CARDINAL NUMBER”である。ここでは Backhouse にあわせ NUMBER”とする。

Dixon は、DIMENSION から AGE までを(a)、PHYSICAL PROPERTY から SPEED までを(b)、DIFFICULTY から CARDINAL NUMBER までを(c)として、(a), (b), (c)の順に形容詞という品詞に含まれやすいとしている。

3.2.2. 西尾 (1972)⁵

西尾 (1972) は、形容詞を感情形容詞と属性形容詞の二つに大きく分け、さらに感情形容詞を「感情」と「感覚」という下位分類に区分している。「客観的な性質・状態の表現をなすもの」を属性形容詞、「主観的な感覚・感情をなすもの」を感情形容詞とする。10 の環境を考えて形容詞を分類しており、属性形容詞と感情形容詞の分類には I から VIII の環境を用いている。西尾 (1972) の 10 の環境は次のとおりである。

(12) 西尾 (1972) の 10 の環境

- I.接尾辞「～がる」がつくかつかないか
- II.(わたしは)～い。(だ。)話し手の感情・感覚
- III.{あなた／あの人}は～い。(だ。)第二(三)認証者の感情・感覚
- IV. {あなた／あの人}は～そうだ。感情・感覚の現れた様子。

- V.《対象＝モノ》が～い。(だ)
- VI.《対象＝人》が～い。(だ)
- VII.《対象＝コト》が～い。(だ)
- VIII.～い(な)こと<内容>

- IX.《体の部分》が～い(だ)
- X.～くて(で)たまらない

I から IV で、まず I に当てはまらないもの、当てはまつたとしても II から IV を満たさないものを属性形容詞として西尾は分類する。なお、「すきな」「ねむい」のように I が当てはまらないものも、II から IV に当てはまる項目があることで感情形容詞に分類している。

I.接尾辞「～がる」がつくかつかないかは、いくつかの問題点はあるものの、主観的

⁵ 『形容詞の意味・用法の記述的研究』の筆頭著者は国立国語研究所、共著者が西尾寅弥となっているが、本書はすべて西尾によって書かれているため、便宜上、西尾 (1972) として引用する。

な感情・感覚を表す形容詞であるかどうかを外的な手掛かりによって見分けるのに簡便である程度有効な方法であると西尾は述べる。

まず、「つよい」「あたらしい」のように感情を表す語ではないが「～がる」がつくものがある。これは「～がる」の多義性によって生じるものと考える。「つよがる」などでの「～がる」は「～ぶる」にやや意味が近く、「うれしがる」「痛がる」などとは区別する。

次に、「きたない」「重宝な」「おめでたい」「厄介な」などは人間の感情ではなく対象の属性を表す形容詞であるのに「～がる」がつけられる。

これらの語は、「わたしはきたない(重宝だ、おめでたい、厄介だ)」という言い方で「わたし」の感情を表現する文としては成り立たないが、「～がる」がつくことを基準を重視するならば感情形容詞的な側面をもつといえる。

最後に、「すきな」「きらいな」などは感情を表すものだが「～がる」がつかない。西尾はその理由を語構成上「すぐ」「きらう」という動詞の連用形由来のものであるため動詞化の必要がないためと憶測する。

II、IIIは、そのままの形で平常文の言い切りの述語になるばあいには、ふつうは、話し手自身の感情・感覚しかあらわさないというものである。

IVは、「～そうだ」の形を用いて、話し手以外の人がある感情感覚を催していることが、外的な観察できる行動や徵候に表れていることを表現するかというものである。

ただし、「～そうだ」は「しあわせそうだ」「かしこそうだ」など、感情形容詞に限らず広くつけられるため、他と区別するための積極的な条件にはなりえないとする。

VからVIIは、感情・感覚を表す形容詞が、その意味が成り立つためにどのような対象を必要とするかというものである。感情形容詞を「感情」と「感覚」に下位分類するために西尾はこの基準を用いている。

「感覚」を表す形容詞のとり得る対象語は、具体的名詞に限られ、しかもほとんどものを表す具体名詞に限られる。ことを表す抽象名詞や名詞句を対象語にとることができない。

ものを表す具体名詞が感覚の対象を表す例として、次のようなものがある。

- (13) 背負った鉄棒の細紐が痛かつた。(野火 103)
- (14) ベンチに下駄をぶら下げたまま横になっていると、星があんまりまぶしい。(放浪記 277)

一方、「感情」をあらわす形容詞も、ものを表す具体名詞が対象語になることは少なからずあるとする。

(15) 東京で吸う赤い味噌汁はなつかしい。(放浪記 122)

IX は、「感覚」を表す形容詞をさらに下位分類する際に用いる基準である。「《体の部位》が～い」という表現ができる形容詞は、からだのいろいろな部位がその感覚をもよおす可能性がある形容詞としてグループ化される。IX が当てはまらないものは、感覚を受ける体の部位が特定のところにきまっているもの(「まぶしい」など)と、体の特定の部位に感じられる性質ではないもの(「ねむい」「あつい」)の二つに分類される。

X は、感情形容詞を快・不快に分けるときに用いる環境である。西尾は X のような表現は不快の系列に属する語の多くにしか使われない傾向があるとする。

4.調査

4.1.調査概要

2017 年 6 月から 2018 年 10 月にかけて事前調査 1 回、本調査 3 回の計 4 回調査を実施した。仮調査は Y 氏(男性)、K 氏(男性)の 2 名、本調査は Y 氏と M 氏(女性)の 2 名、合計 3 名に行った。以降の例文で示す(Y)は Y 氏の回答、(M)は M 氏の回答であることを表す。調査は調査票を用いた面接調査を行った。

次の項目において、指示詞+形容詞サ形が使えるかどうかを調査した。

- (16) a. 指示詞の種類（近称、中称、遠称）による違いはあるか
b. 指示詞の品詞（代名詞、連体詞）による違いはあるか
c. 指示詞+形容詞サ形+の+名詞の句に助詞をつけることができるか
d. 指示詞+形容詞サ形+の+名詞の句に終助詞をつけることができるか
e. 形容詞の否定形で指示詞+形容詞サ形を作れるか
f. 派生形容詞で指示詞+形容詞サ形を作れるか

(16a)では近称、遠称、中称の指示詞の種類ごと、(16b)では代名詞、連体詞の指示詞の品詞ごとの使われ方を調べる。3.1 節で見たように、山本(2017)で椎葉村小崎地区において指示詞+形容詞サ形に近称、遠称の指示詞が用いられたこと、指示代名詞、指示連体詞が用いられたことが報告された。尾前地区における指示詞+形容詞サ形の、指示詞の種類、品詞ごとの使われ方がどうかを調査する。

(16c), (16d)では指示詞+形容詞サ形+の+名詞の句が助詞や終助詞を取って、項や名詞述語になれるか、(16e), (16f)では形容詞の形を変えても指示詞+形容詞サ形をとれるか調べる。指示詞+形容詞サ形と形が似たサ詠嘆法は、「(指示詞) +名詞+ノ+形容詞+サ」の後に終助詞をつけられないということが報告されている。(高田 2015)さらに、山本(2017)は椎葉村小崎地区では、「コノ タノ ヒロサ」(田んぼの広いこと!)とい

う表現に終助詞を付けた「*ヒロサヤ」や「*ヒロサヨ」という形は作れないと報告している。

4.2 節では以上の項目について例文を挙げながら結果を述べる。

なお、先述したように、用いられる形容詞の意味的な分類基準の考察については 5 章で述べる。

4.2.調査結果

4.2.1. 指示詞の種類

指示詞の種類については、近称、遠称の使用が確認できた。中称については確認できなかつたが、調査数が不十分なためさらなる調査が必要である。

(17)	kore	hutosano		tyawan
	kore	huto	-sa	=no
	これ	大きい	-NMLZ	=GEN ⁶
「特別大きい茶碗！」(Y)				

(18)	kon	mizikasano		himo
	kono	mizika	-sa	=no
	この	短い	-NMLZ	=GEN
「特別短い紐！」(Y)				

(19)	{are/*ano}	hayasano		kowa
	{are/*ano}	haya	-sa	=no
	{あれ/*あの}	速い	-NMLZ	=GEN
{あれ/*あの} 速い 子供 =TOP				
(運動会の徒競走を撮ったビデオをテレビで再生して見ながら)				
「あんなに速い子供は見たことはない」(M)				

⁶ 4.2.3 節の例文(22)"kore hutosano tyawanba utiwatte"のように指示詞+形容詞サ形～の句が対格助詞をとれたことから、「指示詞+形容詞サ形+の」の「の」は属格とみる。

(20)	{*sore / *sono}	hutosano		tyawan
	{*sore / *sono}	huto	-sa	=no
	{*それ / *その}	大きい	-NMLZ	=GEN
(相手が持っている茶碗を見て)「特別大きな茶碗！」(Y)				茶碗

4.2.2. 指示詞の品詞

指示詞の品詞については、近称の指示詞に種類を絞って調査した。結果としては、指示詞+形容詞サ形という表現において指示連体詞、指示代名詞どちらも用いることができたが、指示連体詞「この」よりも指示代名詞「これ」の方が用いることができない形容詞が多くかった。また、第一回答としては様態連体詞「こぎゃん」(+no)+形容詞の形が多く、「これ/この+形容詞語幹+さ」のような言い方もする、という回答が主だった。

表4は、M氏において、指示詞+形容詞サ形で「これ」「この」がどの形容詞で用いられたかを表したものである。表4中の形容詞に引いた下線は2回の調査で回答が揺れたものを表している。「これ」と「この」では「この」の方が多く用いられ、基本的に意味の違いはないという回答だった。

表4 「指示詞+形容詞サ形」での「この」「これ」の容認性と形容詞(M氏)

この/これ	形容詞	合計	Dixon	心情/感覚 /叙述
この/これ	大きい、小さい、長い、短い、深い、浅い、広い、高い(背が)、低い(背が)、新しい("nii")、古い、若い、白い、赤い、黄色い、明るい、重い、軽い、硬い、柔らかい、甘い、辛い、苦い、うまい、痛い、丸い	26	Dimension: 9 Age:3 Color:3 Physical Property:11	叙述 18 感覚・叙述:4 感覚:5
この/*これ	良い、暗い、熱い、冷たい、寒い、酸っぱい、渋い、かわいい、簡単な、難しい、近い、 <u>黒い</u> 、 <u>青い</u>	14	Color:2 Value:1 Physical Property:6 Human Propensity:	叙述: 7 感覚 : 5 心情 : 1

			1 Difficulty:2 Position:1	
*この/*これ	悪い、まずい、遅い、速い、 <u>遠い</u> 、 うるさい、憎い、 <u>きつい</u> 、恥ずか しい、怖い、悔しい、 <u>嬉しい</u>	11	Value:1 Physical Property:2 Human Propensity: 5 Speed:2 Position:1	叙述:4 感覺:2 心情:6

4.2.3. 格と文法関係

格と文法関係については、助詞「は」「を」⁷を取り主語、目的語になることができたが、斜格語「に」（「茶碗に入れる」の「に」）をとることはできなかった。追加の調査が必要だが、主要項かどうか等の文法関係、あるいは格の助詞の種類が、指示詞+サ形のとりやすさに関係している可能性がある。

(21)	kore	semasano	mityaa	ozyeenee			
	kore	sema -sa	=no	miti =wa	ozo	-i	=nee
	これ	狭い -NMLZ	=GEN	道 =TOP	怖い -NPST		=SFP
「こんなに狭い道は怖いねえ」(Y)							

(22)	kore	kowyasano		imowa			
	kore	kowya -sa	=no	imo	=wa		
	これ	固い -NMLZ	=GEN	芋	=TOP		
kwarenwai							
	kuw -rare	-n	=wai				
	食う -POT	-NEG.NPST	=SFP				
「こんなに固い芋は食べられない」(Y)							

⁷ 椎葉村尾前方言では対格助詞として“o”, “ba”, “oba”の形式がある。(下地 2016b: 1 表 2)

(23)	kore	hutosano		tyawan{φ/ba}		utiwatte
	kore	huto	-sa	=no	tyawan	{Φ/=ba}
	これ	大きい	-NMLZ	=GEN	茶碗	{Φ/=ACC}
					打ち割る	-SEQ

「特別大きい茶碗を打ち割って！(どうしてくれるんだ)」(Y)

「に」については、”*kore hutosa no tyawan ni koregryaa no mono ire-te”(「こんなに大きな茶碗にこれくらいのもの入れて」の意味で)のような言い方はせず、(24)のような表現になる。

(24)	korehodo	aru		tyawanni	
	korehodo	ar	-ru	tyawan	=ni
	これほど	ある	-NPST	茶碗	=DAT
				irete	
	koreguryaano		mono	ire	-te
	korekurai	no	mono	もの	入れる
	これくらい	=GEN			-SEQ

「こんなに大きな茶碗にこれくらいのもの入れて」(Y)

(21)は Subject かつ Topic マーカーの「は」をとる文、(22)は Object かつ Topic マーカーの「は」をとる文である。(23)は、Object かつ対格助詞「ば」をとることができる文である。(24)は、Subject や Object でない、Peripheral かつ与格助詞「に」をとる文である。以上 4 つの文だけでは、文法関係と助詞の種類どちらが関係しているかわからぬ。ここで、指示詞+形容詞サ形が作れるかどうかについて、3 つの仮説を立てる。

仮説 1: Subject, Object, Peripheral のような文法関係が、指示詞+形容詞サ形の作りやすさに関与している

仮説 2: NOM, ACC, DAT のような格の助詞の種類が、指示詞+形容詞サ形の作りやすさに関与している

仮説 3: Subject, Object, Peripheral のような文法関係と NOM, ACC, DAT のような格の助詞の種類の両方が指示詞+形容詞サ形の作りやすさに関与している

仮説 1, 2, 3 の検証方法として、文法関係と格の助詞の種類を用いたマトリクス表を作り、それぞれの条件を満たす例文で調査する方法が考えられる。Subject と NOM, Object と ACC といった最もそれらしい組み合わせではない部分(例えば Subject と DAT 等)で、本当にその文法関係であるかのテストをし確認することや、特殊な状況の例が

多くなることでそもそもその表現が許容されるかという問題に留意する必要がある。なお、以下の Subject, Object に関するテストや例文はすべて日本語標準語のものである。まず椎葉村尾前方言でも同様のことが言えるか確認したうえで、次の内容を調べる必要がある。

Subject, Object の認定については柴谷(1978)のものを用いる。すなわち、尊敬語化がおこるものを Subject とし、尊敬語化が起こらないかつ受動化した際に主語となれるものを Object とする。そのどちらも起こらないものを Peripheral とする。

柴谷(1978)の指標を用いると、文法関係と格の助詞の種類の組み合わせとして、日本語の標準語として次のような表と例文が考えられる。表 5 の斜線を引いたセルは、その文法関係と格助詞の組み合わせでの日本語標準語の例が見つからなかったものを表す。

表 5 格助詞の種類と文法関係のマトリクス

格助詞/文法関係	NOM	ACC	DAT
Subject	(i)		(ii)
Object	(iii)	(iv) (23)参照	(v)
Peripheral		(vi)	(vii) (24)参照

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| (i) Subject かつ NOM | 「 <u>小さい子供</u> が走っている。」 |
| (ii) Subject かつ DAT | 「 <u>先生に</u> 生徒たちがよくわかる。」 |
| (iii) Object かつ NOM | 「私は <u>優しい人</u> が好きだ。」 |
| (iv) Object かつ ACC | 「太郎は <u>小さい子供</u> を殴った。」 |
| (v) Object かつ DAT | 「太郎は <u>大きい人</u> にぶつかった。」 |
| (vi) Peripheral かつ ACC | 「男が <u>広い川</u> を泳いだ。」 |
| (vii) Peripheral かつ DAT | 「私は <u>広い川</u> に行く。」 |

少なくとも現時点では、文法関係においては、Subject と Object では用いられ Peripheral では用いられていないことから Subject/Object > Peripheral という階層が考えられる。Subject と Object の大小関係については更なる調査が必要である。

格の助詞の種類においては、ACC は用いられるが DAT は用いられていないことから ACC > DAT という予測が立てられる。しかし、この ACC > DAT の階層で NOM がどの位置に立つか（例えば NOM > ACC > DAT なのか、ACC > NOM > DAT なのか等）については調査が必要である。

仮説 1 が成り立つのは、例文(i)から(v)が容認され(vi), (vii)が容認されない場合であ

る。すなわち Subject と Object は格に関係なく容認できるが Peripheral は容認されない場合、格の種類ではなく文法関係が関与しており仮説 1 が正しいといえる。

仮説 2 が成り立つのは、例文(i),(iii),(iv),(vi)が容認される場合（あるいは(iv),(vi),のみが容認される場合）である。すなわち NOM と ACC（あるいは ACC のみ）容認され DAT が容認されない場合、文法関係でなく格の助詞の種類が関係しており仮説 2 が正しいといえる。

仮説 3 が成り立つ状況の例として表 6 のような場合を仮定する。色なしのセルはその例文が許容されることを、灰色のセルは許容されないことを示す。

表 6 仮説 3 が成り立つ状況の仮定

格助詞/文法関係	NOM	ACC	DAT
Subject	(i)		(ii)
Object	(iii)	(iv) (22)参照	(v)
Peripheral		(vi)	(vii) (23)参照

表 6 の色なしのセルが許容され灰色のセルが許容されない場合、すなわち Subject かつ NOM、Object かつ NOM、Object かつ ACC、そして Subject かつ DAT は許容されるが Object かつ DAT、Peripheral かつ ACC、Peripheral かつ DAT が許されないというような結果がある場合、Subject/Object かつ NOM/ACC ならば許容されるといった格助詞の種類と文法関係の両方が関係しているといえる。このとき格助詞の種類のみが関係していると仮定した場合、Object かつ ACC が容認され Peripheral かつ ACC が容認されないため、同じ ACC で容認できるものとできないものがあり説明できない。文法関係のみが関係していると仮定した場合、Object かつ NOM、Object かつ ACC が容認され Object かつ DAT が容認されないためこれも説明がつかない。このようにどちらか片方だけでは成り立たず両方の条件の組み合わせで決まる場合に仮説 3 は成り立つ。

仮説 1,2,3 のどれが正しいか分かったとき、次に階層性が問題となる。仮説 1 または 2 が成り立つ場合は、それぞれの例文で容認できるものの割合を調べることで要素ごとの階層がわかると考える。

仮説 3 が成り立つ場合、文法関係と格助詞の種類どちらがより優先される要因かを確認する。例えば表 6 のような状況のとき、Peripheral かつ ACC は容認されないが Object かつ ACC は容認されること、あるいは Peripheral かつ DAT、Object かつ DAT が容認されないが、Subject かつ DAT が容認されることから、格助詞の種類よりも文法関係の方が許容されやすさへの影響が大きいと考えられる。

以上のような調査を通して、「指示詞+形容詞サ形」に対する格と文法関係の影響を測ることができると考える。

なお、繰り返しになるが以上の Subject, Object に関するテストや例文はすべて日本語標準語のものであるため、椎葉村尾前方言でも同様のことが言えるか確認したうえで、調べる必要がある。

4.2.4. 終助詞

「指示詞 + 形容詞サ形 + の + 名詞」の句に終助詞”wai”, ”zo”をつけて名詞句述語になることができた。ただし、つけることができるか、と尋ねた上での回答であり、つけないことがふつうである。

(25)	kore	komasano				
	kore	koma	-sa	=no		
	これ	小さい	-NMLZ	=GEN		
	komyaa			kodomo{wai/zo}		
	koma	-i		kodomo	{=wai/=zo}	
	小さい	-NPST		子供		=SFP
				「特別小さい子供{だなあ/だよ}」(Y)		

4.2.5. 否定形

「指示詞 + 形容詞サ形」で否定形をとることはなかった。”kore hutokunasano tyawan”(「特別大きくなない茶碗」の意味で)や”kore umonmonya mesi”(「特別おいしくない飯」の意味で)のような言い方はせず、(26), (27)のような表現をとる。

(26)	kogyaano	umonmo	nyaa	mesi		
	kogyan	=no	uma	-ku	=mo	na
	こんな	=GEN	美味しい	-INF	=ADD	ない
						-NPST
						飯
			「特別美味しいごはん」(Y)			

(27)	kono	umoo	nyaa	kasi		
	kono	uma	-ku	na	-i	kasi
	この	美味しい	-INF	ない	-NPST	菓子
			「この美味しい菓子」(M)			

なお、少なくとも M 氏においては”umoonasaa”という形でサ詠嘆を作ることができていた。

(28)	kono	kasino	umoo	nasaa		
	kono	kasi	=no	uma	-ku	na -sa
	この	菓子	=GEN	美味しい	-INF	ない -NMLZ
「特別美味しい菓子」(M)						

4.2.6. 派生形容詞

派生形容詞では、「～やすい」をとることができた。(29b), (29c)のように、普通は動詞 + yoi という形であらわれる。”kore nomiyasusa no gyuunyuu”のような言い方はしなかつた。

(29)	a.	kore	nomiyasano		gyuunyuu	
		kore	nom	-i -yasu -sa =no	gyuunyuu	
		これ	飲む	-IFX -やすい -NMLZ =GEN	牛乳	
「特別飲みやすい牛乳」(Y)						

b.	koraa	kakiiee		enpitu
	kore	=wa kak -i yo -i		enpitu
	これ	=TOP 書く -IFX よい -NPST		鉛筆
「これは書きやすい鉛筆」(Y)				
c.	kuiiee		syooga	
	kuw -i -yo -i		syooga	
	食べる -IFX よい -NPST		ショウガ	
「食べやすいショウガ」(Y)				

派生形容詞「ニクイ」はとらなかつた。”kore tukainikwisa no kama”や”kore tukainikisa no kama”(「特別使いにくい鎌」の意味で)のような言い方はせず、「こぎやあの」を使った(30)のような表現になった。

(30)	kogyaano	tukyaanikwii		kama
	kogyan =no	tukaw -i -niku -i		kama

こんな =GEN 使う -IFX にくい -NPST 鎌
「特別使いにくい鎌」(Y)

5.今後の課題

5.1.3章のまとめと課題

以下では3章でみた(16a)から(16e)の項目に関する課題をまとめる。

(16a)指示詞の種類については、遠称や中称の調査数を増やすこと、「ヒロサノ タンボ」のような指示詞を言わない形の調査が課題として残る。近称については十分例をあつめたものの、遠称や中称の調査数が足りなかった。今回は”hutyee”（「大きい」）という、指示詞+形容詞サ形が用いられることが多かった語で調べていく形をとったが、そのほかの形容詞でも調べる必要がある。また、そもそも文脈、場面設定上、遠称や中称で示すことができないということも回答としてあったため、他の解釈にそれず容易に遠称や中称で指せるような設定が必要だった。さらに、山本(2017)で引用した(8c)「ヒロサノ タンボ」のような、指示詞を言わない文については調査できなかつたため今後の調査が必要である。

(16b)指示詞の品詞については、指示連体詞「この」の方が指示代名詞「これ」より用いられやすいと分かったものの、その違いが何によるものかまではわからなかつた。形容詞に注目して分けたが、修飾される名詞など他の要因にも目を向ける必要があると考える。

(16c)格と文法関係については、3.2節で述べたように格助詞の種類と文法関係どちらが「指示詞+形容詞サ形」の文の許容されやすさに影響を与えていたか調査が必要である。さらに、”hutyee”（「大きい」）という形容詞を主に使って調べていく形をとったためほかの形容詞でも調べる必要がある。

(16d)終助詞では、終助詞が付き得るという点のみ確認したもの、自然な会話で出たわけではなかつた。さらに、「ワイ」「ゾ」以外にも尾前方言の終助詞は多くあるため、その他の終助詞がつかどうか調べることもできると考える。

(16e)否定形は、そもそも形容詞の否定形でサ形が作れるか確認する必要があった。例えば、”hutokunasa”（「大きくないなあ」）のようなサ形を作ることができないのならば、「指示詞+形容詞サ形」の形にしたために容認されないととはいえない。今回は一人の話者に対し”umoonasa”（「美味しいしないなあ」）の形のみを確認するのみであったため、ほかの形容詞でも調べる必要がある。

(16f)派生形容詞も否定形同様、そもそもサ形を作るのか、作るとすればどのような形で生じるのかの調査が不十分だった。

5.2.指示詞+形容詞サ形で使用できる形容詞の分類基準

5.2.1.分類の概要

この節では「指示詞+形容詞語幹+さ+の+名詞」において、どのような形容詞を用いることができるかを分けることを試みる。まず、調査の結果から指示詞+形容詞サ

形が使用される形容詞の分布を見たのち、形容詞を意味的に分類した Dixon の分類と心情・感覚・叙述という分類を基準として使うことを試みる。

形容詞を意味的に分類したものを基準とするにあたって、Dixon(2004) の 13 の形容詞分類と、西尾 (1972) を参考にした心情・感覚・叙述という日本語形容詞の分類を用いた。なお、Dixon の QUALIFICATION の項は、「正しい」「特別な」「一般的」などの語が下地ほか (2016) の簡易辞書に見られなかつたため調査していない。QUANTIFICATION の項は、尾前方言では、「多い」という意味で”zunbyaa”という副詞を用いるため調べていない。CARDINAL NUMBER の項は、Backhouse (2004) より日本語では一般に名詞の形をとることから調べなかつた。

調査した項目は次の 2 つである。

- (31) a. Dixon (2004) の分類が指示詞+形容詞サ形を作る形容詞に関係するか
b. 心情・感覚・叙述の分類が指示詞+形容詞サ形を作る形容詞に関係するか

結論から言うと、Dixon、心情・感覚・叙述の分類共に、指示詞+形容詞サ形を用いるかどうかを完全に分けられるような分類基準にはできない。しかし、叙述、感覚、心情形容詞のグループで、右側のグループ内の形容詞のいずれかを用いることができれば左側のグループに属する形容詞のいずれかを用いることができるという階層性は見られた。

5.2.2. 分類の結果

5.2.2 節ではまず、M 氏における指示詞+形容詞サ形の使用状況を見る。次に、(31a), (31b)について M 氏に Dixon、心情・感覚・叙述の基準を用いて調査した結果を見る。さらに、叙述>感覚>心情の階層性が他の話者でも確認できるか、M 氏と Y 氏への調査結果を比較し(31b)について再度確認する。

表 7 は、M 氏における指示詞+形容詞サ形の使用状況を表したものである。

表 7 M 氏の指示詞+形容詞サ形

	この	これ	形容詞
A	○	○	大きい、小さい、長い、短い、深い、浅い、広い、高い(背が)、低い(背が)、新しい(nii)、古い、若い、白い、赤い、黄色い、明るい、重い、軽い、かたい、柔らかい、甘い、辛い、苦い、うまい、痛い、丸い
B	○	×	良い、暗い、熱い、冷たい、寒い、酸っぱい、渋い、かわいい、簡単な、難しい、近い、黒い、青い

C	×	×	悪い、まずい、遅い、速い、 <u>遠い</u> 、うるさい、憎い、 <u>きつい</u> 、恥ずかしい、怖い、悔しい、嬉しい
---	---	---	--

表 7 の A,B は指示詞 + 形容詞サ形が用いられるもの、C は用いられないものになる。

A,B と C の形容詞について、方言形の方が許容されやすい部分はある（「飲みやすい」で、(29)"kore nomiyasa no gyuunyuu" と "* kore nomiyasusa no gyuunyuu"）。しかし、C に "ozyee"（「怖い」）, "ikezewasii"（「うるさい」）があるように方言形であるからといって指示詞 + 形容詞サ形が使用できるわけではなかった。

次に、M 氏の指示詞 + 形容詞サ形について Dixon (2004) と心情、感覚、叙述の分類を当てはめていく。

表 8 は Dixon (2004) の(a), (b), 一部の(c)の分類と、指示詞サ詠嘆の使用のされ方をまとめたものである。

表 8 に示す通り、ほとんどの形容詞で指示詞サ詠嘆文を作ることができた。

(a)、(b)、(c)の順に用いられやすいといった階層性は見られなかつたが、表 5 と併せてみると DIMENSION, COLOR は「これ」「この」両方を用いた指示詞 + 形容詞サ形の割合が高かつた。

表 8 Dixon(2004)の分類と M 氏の指示詞 + 形容詞サ形

分類	指示詞 + 形容詞サ形○	指示詞 + 形容詞サ形×	合計
DIMENSION	10	0	10
AGE	2	1	3
VALUE	2	1	3
COLOR	5	0	5
PHYSICAL PROPERTY	16	3	19
HUMAN PROPENSITY	5	5	10
SPEED	1	1	2
DIFFICULTY	2	0	2
POSITION	2	0	2

表 9 は、心情・感覚・叙述形容詞と M 氏の指示詞 + 形容詞サ形の使われ方をまとめたものである。表 9 に示すように、叙述、感覚、心情の順に、全体に占める指示詞 + 形容詞サ形の割合が高くなっていた。

表 9 心情・感覚・叙述形容詞と M 氏の指示詞+形容詞サ形

分類	指示詞+形容詞サ形○	指示詞+形容詞サ形×	合計
心情	2	5	7
感覚	11	2	13
叙述	30	3	33

ここで、そもそも心情形容詞に分類される形容詞が名詞の修飾部に立ちにくいのではないかという問題がある。仁田 (1998) は、形容詞全体としては装定用法（名詞を修飾限定する用法）が多いが、感情・感覚形容詞（例として「懐かしい」「欲しい」）は装定で使われる例が少ないことを指摘している。しかし、少なくとも調査した形容詞については、(32)から(36)のように「こぎやあの」を用いた形で名詞を修飾することはできていた。

- (32) kogyaano turyaa omee site
 kogyan =no tura -i omoi si -te
 こんな =GEN つらい -INF 思い する -SEQ
 「こんなにつらい思いをして」 (M)

- (33) kogyaa uresii kotaan nyaa
 kogyan uresi -i koto =wa na -i
 こんな 嬉しい -INF こと =TOP ない -NPST
 「こんなに嬉しいことはない」 (M)

- (34) agyaano okasii kotaan
 agyan =no -i koto =wa na -i
 あんな =GEN -INF こと =TOP ない -NPST
 hazimetezyatta
 hazimete =zyar -ta
 初めて =COP -PST
 「あんなに恥ずかしいことは初めてだった」 (M)

- (35) kogyaano ozyee toto
 kogyan =no ozo -i toto

こんな =GEN 怖い -INF 父
「こんなに怖い父」(Y)

(36)	agyaano	hagaii	kotaa	nakatta
	agyaa	=no	hagai -i	koto =wa na -katta
	あんな =GEN	悔しい -INF	こと =TOP	ない -PST
「あんなに悔しいことはなかった」(M)				

以上の結果から、階層性が見られるという点において心情・感覚・叙述という分類の方が、Dixon (2004) の分類より使いやすいと考えた。

次の表 10 は、心情・感覚・叙述形容詞をそれぞれ 5 個ずつ取り上げ、Y 氏と M 氏の 2 名に調査した結果をまとめたものである。re は指示詞「これ」、no は指示詞「この」を表し、それぞれで「指示詞+形容詞サ形+の+名詞」の文が言えたかどうかを示している。

表 10 心情・感覚・叙述形容詞毎の Y 氏、M 氏の指示詞+形容詞サ形の比較

分類	形容詞	方言形	Y 氏	M 氏
心情 形容詞	にくい	nikwii	*re/*no	*re/*no
	つらい	turyaa	*re/*no	*re/*no
	悔しい	hagaii	*re/*no	*re/*no
	恥ずかしい	okasii	*re/*no	*re/*no
	怖い	ozyee	*re/*no	*re/*no
感覚 形容詞	甘い	amyaa	*re/*no	re/no
	熱い	atyaa	*re/*no	*re/no
	からい	karyaa	*re/*no	re/no
	うるさい	ikesewasii, yakamasii	*re/*no	*re/?no
	まぶしい	mabaii	*re/*no	*re/*no
叙述 形容詞	大きい	hutyee	re/*no	re/no
	明るい	akyaa	*re/*no	re/no
	高い	takyaa	re/no	re/no
	赤い	akyaa	*re/*no	re/no
	丸い	marii	*no/*re	re/no

心情形容詞はほとんど「これ」も「この」も許容されず、感覚形容詞は、Y 氏に比べM 氏では大きく許容された。叙述形容詞は M 氏ではすべて許容されたが、Y 氏では許容できるものとできないものがあった。

5.2.3. 分類基準のまとめ

表 5 より、Dixon の分類からは、DIMENTION と PHYSICALPROPERTY が多く用いられるといえる。しかし、DIMENSION は(a)、PHYSICALPROPERTY は(b)であり、「より形容詞という品詞になりやすい」という階層性に従って指示詞+形容詞サ形が用いられるというわけではない。

一方、心情・感覚・叙述の分類では、叙述、感覚、心情の順に指示詞+形容詞サ形が用いられやすいという傾向は得られた。また、心情<感覚<叙述という階層が、少なくともあるカテゴリーで「これ」／「この」をとれるならば、それよりも右のカテゴリーでも「これ」／「この」をとることができるという形で見られる。しかし、感情形容詞や叙述形容詞内で使えるか使えないかを分けているものは何かというところまで至っていない。

以上より、Dixon、心情感覚叙述の分類共に、指示詞+形容詞サ形を用いるかどうかの形容詞の意味的基準であるとは言えないものの、叙述>感覚>心情の順に、「これ」／「この」を使うことができるという階層は見られた。

6.おわりに

本論文では、宮崎県椎葉村尾前方言でみられる「指示詞+形容詞語幹+さ+の+名詞」という表現について、指示詞、助詞/文法関係、終助詞、否定形、派生形容詞の使われ方をまとめた。また、今後の課題として、「指示詞+形容詞語幹+さ+の+名詞」でどのような形容詞を用いることができるのかの分類を試みた。

指示詞については、近称（これ、この）、遠称（あれ、あの）を用いた形の使用が確認された。第一回答としては「こぎやあの」を用いた形が多く、「これ」と「この」の使用される数では「この」の方が多かった。格と文法関係については、助詞「は」「を」をとり主語、目的語になることができた。ただし、格の助詞の種類と文法関係のどちらが影響しているかは更なる調査が必要である。

終助詞については、終助詞「ワイ」「ゾ」をつけることができたが、付けることができるかと尋ねたうえでの回答であり基本的には付けなかった。

形容詞の否定形についてはとることができなかつた。

派生形容詞については”ee”（「－やすい」）の使用は確認できたが、”nikii”（「－にくい」）の使用は確認できなかつた。

「指示詞+形容詞語幹+さ+の+名詞」ではどのような形容詞を用いることができるのか、Dixon(2004)の分類と西尾(1972)を参考にした分類をそれぞれ用いた。どちらも使用基準の分類として用いることはできなかつたが、叙述>感覚>心情という階層が、少なくともあるカテゴリーで「これ」／「この」をとれるならば、それよりも右のカテゴリーでも「これ」／「この」をとることができるという形で見られると分かつた。

本論文では近称の指示詞を中心に、使用される形容詞の違いに着目して調査したが、他の指示詞や指示詞を用いない形はどうなのか、使用される名詞によっても違いが生じるのかなど今後さらなる調査が必要である。

参照文献

- Backhouse, Anthony E. (2004) Inflected and Uninflected Adjectives in Japanese. In: R.M.W. Dixon and Alexandra Y. Aikhenvald (eds.) *Adjective Classes: A Cross-Linguistic Typology*, 50-73. Oxford : Oxford University Press.
- Dixon, R. M. W. (2004) Adjective Classes in Typological Perspective. In: R.M.W. Dixon and Alexandra Y. Aikhenvald (eds.) *Adjective Classes: A Cross-Linguistic Typology*, 1-49. Oxford : Oxford University Press.
- 清岡美里 (2016) 「宮崎県椎葉村尾前方言の代名詞の記述研究」 卒業論文, 九州大学.
- 国立国語研究所・西尾寅弥 (1972) 『形容詞の意味・用法の記述的研究』 東京 : 秀英出版.
- 仁田義雄(1998) 「日本語文法における形容詞」 『月間言語』 3(27) : 26-35.
- 柴谷方良(1978) 『日本語の分析：生成文法の方法』 東京 : 大修館書店.
- 下地理則 (2016a) 「1. 音素論と形態音韻論の中間報告」 下地理則・小川晋史・新永悠人・平塚雄亮・坂井美日 (編) 『尾前調査班 中間報告書—宮崎県椎葉村尾前方言簡易語彙集と文法概説一』 7-14. 東京 : 国立国語研究所.
- 下地理則 (2016b) 「3. 格体系記述の中間報告」 下地理則・小川晋史・新永悠人・平塚雄亮・坂井美日 (編) 『尾前調査班 中間報告書—宮崎県椎葉村尾前方言簡易語彙集と文法概説一』 34-52. 東京 : 国立国語研究所.
- 下地理則・小川晋史・坂井美日 (2016) 「0. はじめに」 下地理則・小川晋史・新永悠人・平塚雄亮・坂井美日 (編) 『尾前調査班 中間報告書—宮崎県椎葉村尾前方言簡易語彙集と文法概説一』 1-6. 東京 : 国立国語研究所.
- 高田彩華(2015) 「佐賀県鹿島方言におけるサ詠嘆法について」 卒業論文, 九州大学.
- 山本友美 (2017) 「椎葉諸方言についていくつかの疑問点」 平成 29 年度第 3 回椎葉方言勉強会口頭発表. 国立国語研究所, 2017 年 9 月.
- 吉岡泰夫 (1994) 「五. 椎葉の方言概説」 德川宗賢・吉岡泰夫・那須林・山中和子・甲斐光義 (編) 『椎葉のことばと文化』 235-253. 宮崎 : 宮崎日日新聞社.

グロス一覧

- : 接辞境界

= : 接語境界

ACC:	accusative
ADD:	additive
CONJ:	conjunction
DAT:	dative
FMN	formal noun
GEN	genitive
HYP	hypothetical
IFX	interfix
INF:	infinitive
LOC	locative
NEG:	negative
NMLZ	nominalizer
NPST:	non-past
POT:	potential
PST:	past
Q	question
SEQ:	sequential
SFP:	sentence final particle
TOP:	topic

付録 1.調査結果

2017年10月調査 (Y 氏)

No.	形容詞	心情・ 感覚・ 叙述	Dixon	回答
1	大きい	叙述	Dimension	kore huto-sa=no tyawan これ 太い-NMLZ=GEN 茶碗 特別大きい茶碗
2	軽い	叙述	Physical Property	kore koma-sa=no komyaa kodomo= {Φ/wai/zo/*ne/*ga} これ 小さい-NMLZ=GEN 小さい.NPST 子 供=SFP 特別小さい子供(だよ)
3	長い	叙述	Dimension	kon naga-sa=no himo この 長い-NMLZ=GENo 紐 特別長い紐
4	短い	叙述	Dimension	kon mizika-sa=no himo この 短い-NMLZ=GEN 紐 特別短い紐
5	広い	叙述	Dimension	kore hiro-sa=no dooro これ 広い-NMLZ=GEN 道路 特別広い道路
6	狭い	叙述	Dimension	kore sema-sa=no mityaa ozyee=nee これ 狹い-NMLZ=GEN 道.TOP 怖 い.NPST=SFP 特別狭い道は怖いねえ
7	深い	叙述	Dimension	kono huka-sa=no hutii この 深い-NMLZ=GEN 淵 特別深い（池の）淵
8	浅い	叙述	Dimension	kono asa-sa=no zyuubako この 浅い-NMLZ=GEN 重箱 特別浅い重箱
9	古い	叙述	Age	koraa erai hurii tyawan=nee これ.TOP とても 古い.NPST 茶碗=SFP

				これはとても古い茶碗ね
10	若い	叙述	Age	kore waka-sa=no yome これ 若い-NMLZ=GEN 嫁 特別若い嫁
11	黒い	叙述	Color	makkuryee kami 真っ黒.NPST 髪 特別黒い髪
12	丸い	叙述	Physical Property	kogyaa=no mari-i isi こんな=GEN 丸い-NPST 石 こんなに丸い石
13	薄い	叙述	Physical Property	kogyaa=no usii kami こんな=GEN 薄い.NPST 紙 こんなに薄い紙
14	強い	叙述	Physical Property	kogyaa=no tuee ki こんな=GEN 強い.NPST 木 こんなに強い木
15	かたい	叙述	Physical Property	kore kowya-sa=no senbee これ かたい-NMLZ=GEN せんべい 特別かたいせんべい
16	かたい	叙述	Physical Property	kore {kata-sa=no/kowya-sa=no} imo kw-are-n=wai これ かたい-NMLZ=GEN 芋 食べる-POT-NEG.NPST=SFP 特別かたい芋 食べられない
17	柔らかい	叙述	Physical Property	kore yawa-sa=no toohu これ 柔らかい-NMLZ=GEN 豆腐 特別柔らかい豆腐
18	熱い	感覚	Physical Property	kore atu-sa=no tyaa これ 热い-NMLZ=GEN 茶 (湯気は出でないが口をつけてみて) 特別熱い茶
19	冷たい	感覚	Physical Property	kogyaa=no tumetyaa te こんな=GEN 冷たい.NPST 手 こんなに冷たい手

20	静かな、おとなしい	叙述	Physical Property	kogya=no otonasi-i hey こんな=GEN 静かな-NPST 部屋 こんなに静かな部屋
21	うるさい	叙述	Physical Property	kogya=no ikezawasi-i hey こんな=GEN うるさい-NPST 部屋 こんなにうるさい部屋
22	明るい	叙述	Physical Property	*kore aka-sa=no hosi これ 明るい-NMLZ=GEN 星 特別明るい星
23	暗い	叙述	Physical Property	kore makkuryaa hey これ 真っ暗.NPST 部屋 こんなに真っ暗な部屋
24	美味しい	感覚	Physical Property	kogya=no umyaa mono こんなに=GEN 美味しい.NPST もの こんなにおいしいもの
25	まずい	感覚	Physical Property	kore umon=mo nyaa mesi これ 美味しい.INF=ADD ない.NPST ご飯 特別美味しいもないご飯
26	酸っぱい	感覚	Physical Property	kore sui-sa=no toohu これ 酸っぱい-NMLZ=GEN 豆腐 特別酸っぱい豆腐
27	怖い	心情	Human Propensity	kogyan=no ozyee toko こんな=GEN 怖い.NPST 所 特別怖い所
28	賢い (利口だ)	叙述	Human Propensity	kogya rikoona ko こんな 利口だ.NPST 子供 こんなに頭の良い子
29	きつい	感覚	Human Propensity	kono kitu-sa=no sigoto この きつい-NMLZ=GEN 仕事 特別きつい仕事
30	痛い	感覚	Human Propensity	kogya ityaa koto=wa nyaa こんな 痛い.NPST こと=TOP ない.NPST こんなに痛いことはない

31	かわいい	心情	Human Propensity	kogyaa=no muzoona kodomo こんな=GEN 可愛い.NPST 子供 特別可愛い子供
32	速い	叙述	Speed	kuruma=no hayaa 車=NOM 速い.NPST (特別) 速い車
33	遅い	叙述	Speed	kuruma=no boyaa 車=NOM 遅い.NPST (特別) 遅い車

2018年6月調査(M氏)

No.	形容詞	心情・ 感覚・ 叙述	Dixon	回答
34	大きい	叙述	Dimension	{kore/kono} huto-sa=no iwa hazimete mi-ta {これ/この} 大きい-NMLZ=GEN 魚.TOP 初めて見る-PST こんなに大きい魚は初めて見た
35	小さい	叙述	Dimension	{kore/kono} koma-sa=no nabaa hazimete mita {これ/この} 小さい-NMLZ=GEN きの こ.TOP 初めて 見る-PST こんなに小さいキノコは初めて見た
36	長い	叙述	Dimension	{kore/kono} naga-sa=no kamugyaa hazimete mi-ta {これ/この} 長い-NMLZ=GEN 髪の 毛.TOP 初めて 見る-PST こんなに長い髪の毛は初めて見た
37	短い	叙述	Dimension	{kore/kono} mizika-sa=no kamugyaa hazimete mi-ta {これ/この} 短い-NMLZ=GEN 髪の 毛.TOP 初めて 見る-PST こんなに短い髪の毛は初めて見た
38	深い	叙述	Dimension	{kore/kono} huka-sa=no naka=no ee=taa hazimete mi-ta {これ/この} 深い-NMLZ=GEN 仲=NOM 良い.NPST=FMN.TOP 初めて 見る-PST こんなに深い仲が良いのは初めて見た
39	浅い	叙述	Dimension	{kore/kono} asa-sa=no naka=wa hazimete mi-ta {これ/この} 浅い-NMLZ=GEN 仲.TOP 初 めて 見る-PST こんなに浅い仲は初めて見た
40	広い	叙述	Dimension	kore hiro-sa=no tannnaka mi-ta kota nyaa

				これ 広い-NMLZ=GEN 田んぼ 見る-PST こと.TOP ない.NPST こんなに広い田んぼ見たことない
41	狭い	叙述	Dimension	{kore/kono}sema-sa=no heya {これ/この} 狹い-NMLZ=GEN 部屋 特別狭い部屋
42	高い	叙述	Dimension	kore taka-sa=no too=wa mi-ta kota nyaa=wai これ 高い-NMLZ=GEN 塔=TOP 見る-PST こと.TOP ない.NPST=SFP こんなに高い塔は見たことはないよ
43	低い	叙述	Dimension	{kore/kono} hiku-sa=no tatemono {これ/この} 低い-NMLZ=GEN 建物 特別低い建物
44	黒い	叙述	Color	{kore/kono} kuro-sa=no turyaa mita koto nyaa {これ/この} 黒い-NMLZ=GEN 顔.TOP 見る-PST こと ない.NPST こんなに黒い顔は見たことない
45	白い	叙述	Color	kore siro-sa=no turaa これ 白い-NMLZ=GEN 顔 特別白い顔
46	赤い	叙述	Color	kore aka-sa=no turaa mita kotaa nyaa これ 赤い-NMLZ=GEN 顔.TOP 見る-PST こと.TOP ない.NPST こんなに赤い顔は見たことがない
47	青い	叙述	Color	?kore ao-sa=no turaa mita kotaa nyaa これ 青い-NMLZ=GEN 顔.TOP 見る-PST こと.TOP ない.NPST こんなに青い顔は見たことがない
48	黄色い	叙述	Color	?kore kiiro-sa=no tumyaa mita kotaa nyaa これ 黄色-NMLZ=GEN 爪.TOP 見る-PST こと.TOP ない.NPST こんなに黄色い爪は見たことがない
49	新しい	叙述	Age	{kore/kono} nii=no kutyaa dogyaa si-ta=to?

				{これ/この} 新しい=GEN 靴.TOP どう する-PST=Q? こんなに新しい靴どうしたの
50	古い	叙述	Age	{kore/kono} huru-sa=no hukwaa mi-ta kotaanyaa {これ/この} 古い-NMLZ=GEN 服.TOP 見る-PST こと.TOP ない.NPST こんなに古い服は見たことない
51	若い	叙述	Age	{kore/kono} waka-sa=no yomegaa mi-ta kotaanyaa {これ/この} 若い-NMLZ=GEN 嫁.TOP 見る-PST こと.TOP ない.NPST こんなに若い嫁は見たことない
52	良い	叙述	Value	{*kore/kono} yoka-sa=no kimonaa mi-ta kotaanyaa {*これ/この} 良い-NMLZ=GEN 着物/TOP 見る-PST こと.TOP ない.NPST こんなに良い着物は見たことない
53	悪い	叙述	Value	{*kono/*kore} waru-sa=no kimono {*この/*これ} 悪い-NMLZ=GEN 着物 *特別悪い着物
54	かたい	叙述	Physical Property	{kore/*kono} kata-sa=no senpie=wa kw-are-n=wai {これ/この} かたい-NMLZ=GEN せんべい=TOP 食べる-POT-NEG.NPST=SFP こんなにかたいせんべいは食べられないよ
55	かたい	感覚・ 叙述	Physical Property	{kore/kono} kata-sa=no senpie=wa mi-ta koto na-i {これ/この} かたい-NMLZ=GEN せんべい=TOP 見る-PST こと ない-NPST こんなにかたいせんべいは見たことない
56	柔らかい	叙述	Physical Property	{kore/kono} yawa-sa=no senpie=nara kw-aru-ru

				{これ/この} 柔らかい-NMLZ=GEN せんべい=HYP 食べる-POT-NPST こんなに柔らかいせんべいなら食べられる
57	熱い	感覚	Physical Property	{*kore/kono} ata-sa=no tyaa nom-e-n=bai {*これ/この} 热い-NMLZ=GEN 茶 飲む-POT-NEG=SFP こんなに熱い茶飲めないよ
58	冷たい	感覚	Physical Property	{*kore/kono} timeta-sa=no tyaa {*これ/この} 冷たい-NMLZ=GEN 茶 特別冷たい茶
59	寒い	感覚	Physical Property	{*kore/kono} samu-sa=no tokiee=nyaa or-e-n {*これ/この} 寒い-NMLZ=GEN 所.LOC=LOC.TOP 居る-POT-NEG.NPST こんなに寒い所には居られない
60	重い	感覚・ 叙述	Physical Property	{kore/kono} omu-sa=no nimotu=zyatta=huu {これ/この} 重い-NMLZ=GEN 荷物=COP.PST=SFP こんなに重い荷物だったらしい
61	軽い	感覚・ 叙述	Physical Property	{kore/kono} karu-sa=no nimotu {これ/この} 軽い-NMLZ=GEN 荷物 特別軽い荷物
62	明るい	叙述	Physical Property	{kore/kono} aka-sa=no denki {これ/この} 明るい-NMLZ=GEN 電気 特別明るい電気
63	暗い	叙述	Physical Property	{kono/*kore} kuro-sa=no heya {この/*これ} 暗い-NMLZ=GEN 部屋 特別暗い部屋
64	美味しい	感覚	Physical Property	kore uma-sa=no kwasyaa mettyaa kw-a-n=nee これ 美味しい-NMLZ=GEN 菓子.TOP めったに 食べる-IFX-NEG=SFP こんなに美味しい菓子はめったに食べないよ
65	まずい	感覚	Physical Property	{*kore/*kono} umoo na-sa=no kwasi

				{*これ/*この} 美味しい.INF ない-NMLZ=GEN 菓子 特別美味しいかない菓子
66	甘い	感覚	Physical Property	{kore/kono} ama-sa=no kwasi=wa kuw-a-n =ga ee {これ/この} 甘い-NMLZ=GEN 菓子=TOP 食べる-IFX-NEG.NPST=NOM 良い.NPST こんなに甘い菓子は食べないほうがいい
67	辛い	感覚	Physical Property	{kore/kono} kara-sa=no monaa kuuta kotaan nyaa {これ/この} 辛い-NMLZ=GEN もの.TOP 食べる.PST こと.TOP ない.NPST こんなに辛いものは食べたことない
68	苦い	感覚	Physical Property	{kore/kono/*kon} niga-sa=no monaa kuu.ta kotaan nyaa {これ/この/この} 苦い-NMLZ=GEN もの.TOP 食べる.PST こと.TOP ない.NPST こんなに苦いものは食べたことがない
69	酸っぱい	感覚	Physical Property	{*kore/kono} sui-sa=no umebosyaa mi-ta kotaan nyaa {*これ/この} 酸っぱい-NMLZ=GEN うめぼし.TOP 見る-PST こと.TOP ない.NPST こんなに酸っぱい梅干しは見たことがない
70	渋い	感覚	Physical Property	{kono/*kore} sibu-sa=no kaki=wa kw-are-n {この/*これ} 渋い-NMLZ=GEN 柿=TOP 食べる-POT-NEG.NPST こんなに渋い柿は食べられない
71	きつい	感覚	Human Propensity	{kore/kono} kitu-sa=no kazyaa hazimete hiita {これ/この} きつい-NMLZ=GEN 風邪.TOP 初めて 引く.PST こんなにきつい風邪は初めて引いた
72	痛い	感覚	Human Propensity	{kore/*kono} ita-sa=no=woba korae-te kurasu

				{これ/*この} 痛い-NMLZ=FMN=ACC こらえる-SEQ 暮らす-NPST こんなに痛いのをこらえて暮らす
73	かわいい	叙述	Human Propensity	{*kore/kono} muzooras-sa=no kodomo {*これ/*この} 可愛い-NMLZ=GEN 子供 特別可愛い子供
74	嬉しい	心情	Human Propensity	{*kore/*kono} uresi-sa=no koto {*これ/*この} 嬉しい-NMLZ=GEN こと 特別嬉しいこと
75	つらい	心情	Human Propensity	{kono/*kore} kitu-sa=no kimoti {この/*これ} きつい-NMLZ=GEN 気持ち 特別つらい気持ち
76	つらい	心情	Human Propensity	kore tura-sa=no omiee si-te これ つらい-NMLZ=GEN 思い する-SEQ 特別つらい思いして
77	速い	叙述	Speed	{*?kore/*?kono} haya-sa=no ko {*これ/*この} 速い-NMLZ=GEN 子供 特別速い子供
78	遅い	叙述	Speed	{*kore/*kon/kono} boyaa kodomo=wa mi-ta kotaan nyaa {*これ/*この/この} 遅い.NPST 子供=TOP 見る-PST こと.TOP ない.NPST こんなに遅い子供は見たことない
79	易しい	叙述	Difficulty	{kono/*kore} yasas-sa=no mondai {この/*これ} 易しい-NMLZ=GEN 問題 特別易しい問題
80	難しい	叙述	Difficulty	{*kore/kono/*kon} mutukas-sa=no siken {*これ/*この/*この} 難しい-NMLZ=GEN 試験 特別難しい問題
81	近い	叙述	Position	{*kore/kono} tika-sa=no ie {*これ/*この} 近い-NMLZ=GEN 家 特別近い家
82	遠い	叙述	Position	kono too-sa=no tokoro=woba ki-ta

				この 遠い-NMLZ=GEN 所=ACC 来る-PST こんなに遠い所を来た
--	--	--	--	---

2018年10月調査（Y氏）

No.	形容詞	心情・ 感覚・ 叙述	Dixon	回答
83	にくい	心情	Human Propensity	*kore niku-sa=no hebi *これ 憎い-NMLZ=GEN へび 特別憎いへび
84	つらい	心情	Human Propensity	{*kore/*kono} kitu-sa=no kurasyaa nyaa {*これ/*この} きつい-NMLZ=GEN 暮らし.TOP ない.NPST こんなにきつい暮らしはない
85	恥ずかしい	心情	Human Propensity	{*kore/*kono} okas-sa=no koto {*これ/*この} 恥ずかしい-NMLZ=GEN こと 特別恥ずかしいこと
86	怖い	心情	Human Propensity	kogyaa=no ozyee toko こんな=GEN 怖い.NPST 所 こんなに怖い所
87	怖い	心情	Human Propensity	kogyaa=no ozyee toto こんな=GEN 怖い.NPST 父 こんなに怖い父
88	悔しい	心情	Human Propensity	kogyaa=no hagaii kotaa na-katta=wai こんな=GEN 悔しい.NPST こと.TOP ない -PST=SFP こんなに悔しいことはなかったよ
89	甘い	感覚	Physical Property	kogyaa=no amyaa kakyaa hazimete mi-ta=nao こんな=GEN 甘い.NPST 柿.TOP 初めて 見る-PST=SFP こんなに甘い柿は初めて見たよ
90	熱い	感覚	Physical Property	kore atu-sa=no tyaa これ 热い-NMLZ=GEN 茶 特別熱い茶

91	からい	感覚	Physical Property	{*kore/*kono} kara-sa=no kosyoo {*これ/*この} 辛い-NMLZ=GEN 唐辛子 特別辛い唐辛子
92	うるさい	感覚	Physical Property	kogyaa=no ikezewasi-i hey こんな=GEN うるさい-NPST 部屋 こんなにうるさい部屋
93	まぶしい	感覚	Physical Property	{*kore/*kono} mabai-sa=no hi {*これ/*この} まぶしい-NMLZ=GEN 日
94	かたい	感覚	Physical Property	kore kata-sa=no imo kw-are-n=wai これ かたい-NMLZ=GEN 芋 食べる-POT-NEG.NPST=SFP こんなにかたい芋は食べられないよ
95	かたい	感覚	Physical Property	kore kowya-sa=no imo=wa kw-are-n=wai これ かたい-NMLZ=GEN 芋=TOP 食べる -POT-NEG.NPST=SFP こんなにかたい芋は食べられないよ
96	重い	叙述	Physical Property	kore omo-sa=no mono これ 重い-NMLZ=GEN もの 特別重いもの
97	高い	叙述	Dimension	{kore/kono} taka-sa=no tyawan {これ/この} 高い-NMLZ=GEN 茶碗 特別（高さが）高い茶碗
98	赤い	叙述	Color	{*kore/*kono} aka-sa=no tura {*これ/*この} 赤い-NMLZ=GEN 顔 特別赤い顔
99	丸い	叙述	Physical Property	{*kore/*kono} maru-sa=no korii {*これ/*この} 丸い-NMLZ=GEN 氷 特別丸い氷

2018年10月調査(M氏)

No.	形容詞	心情・ 感覚・ 叙述	Dixon	回答
100	にくい	心情	Human Propensity	{*kore/*kono} niku-sa=no otokaa or-a-n {*これ/*この} 憎い-NMLZ=GEN 男.TOP 居る-IFX-NEG.NPST こんなに憎い男はいない
101	つらい	心情	Human Propensity	{*kore/*kono} kitu-sa=no kurasyaa nyaa {*これ/*この} つらい-NMLZ=GEN 暮らし.TOP ない.NPST こんなにつらい暮らしはない
102	恥ずかしい	心情	Human Propensity	{*kono/*kore} okasi-sa=no kotaan hazimete {*これ/*この} 恥ずかしい-NMLZ=GEN こと.TOP 初めて こんなに恥ずかしいことは初めて
103	怖い	心情	Human Propensity	[kore/kono] ozo-sa=no toto {これ/この} 怖い-NMLZ=GEN 父 特別怖い父
104	悔しい	心情	Human Propensity	{*kore/*kono} hagai-sa=no kotaan nyaa {*これ/*この} 悔しい-NMLZ=GEN こと.TOP ない.NPST こんなに悔しいことはない
105	甘い	感覚	Physical Property	{kore/kono} ama-sa=no kasi-wa kuw-a-n=ga ee {これ/この} 甘い-NMLZ=GEN 菓子=TOP 食べる-IFX-NEG.NPST=NOM 良い.NPST こんなに甘い菓子は食べないほうがいい
106	熱い	感覚	Physical Property	{*kore/kono} ata-sa=no tyaa nom-e-n=bai {*これ/この} 热い-NMLZ=GEN 茶 飲む-POT-NEG.NPST=SFP こんなに熱い茶飲めないよ

107	からい	感覚	Physical Property	{kore/kono} kara-sa=no monaa kuu-ta kotaanyaa {これ/この} 辛い-NMLZ=GEN もの.TOP 食べる-PST こと.TOP ない.NPST こんなに辛いものは食べたことない
108	うるさい	感覚	Physical Property	{*kono/*kore} yakamasi-sa=no totaa or-a-n {*この/*これ} うるさい-NMLZ=GEN 父.TOP いる-IFX-NEG.NPST こんなにうるさい父はいない
109	くさい	感覚	Physical Property	kogyaa=no kazanowari-i benzyo こんな=GEN くさい-NPST 便所 特別臭い便所
110	かたい	感覚・叙述	Physical Property	{kore/kono} kata-sa=no senpie=wa mi-ta koto na-i {これ/この} かたい-NMLZ=GEN せんべい=TOP 見る-PST こと ない-NPST こんなにかたいせんべいは見たことない
111	かたい	感覚・叙述	Physical Property	{kore/kono} omu-sa=no nimotu=zyatta=huu {これ/この} 重い-NMLZ=GEN 荷物=COP.PST=SFP こんなに重い荷物だったらしい
112	重い	感覚・叙述	Physical Property	{kore/kono} huto-sa=no iwa hazimete mi-ta {これ/この} 大きい-NMLZ=GEN 魚.TOP 初めて 見る-PST こんなに大きい魚は初めて見た
113	高い	叙述	Dimension	kore taka-sa=no too=wa mi-ta kota nyaa=wai これ 高い-NMLZ=GEN 塔=TOP 見る-PST こと.TOP ない.NPST=SFP こんなに高い塔は見たことないよ
114	赤い	叙述	Color	{kono/kore} aka-sa=no turaa mi-ta koto nyaa {これ/この} 赤い-NMLZ=GEN 顔.TOP 見る-PST こと ない.NPST こんなに赤い顔は見たことない

115	明るい	叙述	Physical Property	{kono/kore} aka-sa=no tukyaa hazimete mi-ta {この/これ} 明るい-NMLZ=GEN 月.TOP 初めて 見る-PST こんなに明るい月は初めて見た
116	丸い	叙述	Physical Property	{kore/kono} maru-sa=no hutyee tukyaa hazimete mi-ta {これ/この} 丸い-NMLZ=GEN 大きい.NPST 月.TOP 初めて 見る-PST こんなに丸い大きい月は初めて見た

謝辞

調査に協力してくださった話者の方々、調査の際サポートをしてくださった椎葉民俗芸能博物館の山本友美氏、卒業論文の執筆や調査の準備、実施においてご指導くださった下地理則先生に心からお礼申し上げます。調査に同行くださり現地でもご指導してくださった熊本県立大学の小川晋史先生、国立国語研究所の新永悠人先生にも厚く御礼申し上げます。日頃の授業では言語学研究室の久保智之先生、上山あゆみ先生、太田真理先生には言語学の様々な分野の知識を教えていただき、大変お世話になりました。言語学研究室の先輩方には日頃の学生生活で公私ともにアドバイスをいただきました。また、授業や研究室で支えてくださった同期の皆様、特に松岡葵氏、宮岡大氏には共同で研究会の発表準備するなど様々な場面でお世話になりました。後輩の皆さんには演習発表や調査への同行、ゼミ活動で協力していただきました。最後に、大学進学まで支えてくれた家族には深く感謝しています。